

■ パネルディスカッション：下水道分野における広域化・共同化の動向と官民連携

第30回環境システム計測制御学会（EICA）研究発表会 パネルディスカッション

開催日程：11月6日 14：45～17：00

会場：大阪科学技術センター 8階 大ホール

テーマ：下水道分野における広域化・共同化の動向と官民連携

座長：西村 文武 氏（京都大学大学院工学研究科 准教授）

パネリスト：那須 基 氏（国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課 事業マネジメント推進室長）

稲垣 勝伸 氏（大阪府 都市整備部 下水道室 室長）

上塚 哲彦 氏（大阪市 建設局 下水道河川部 下水道事業改革担当課長）

久保 裕志 氏（地方共同法人 日本下水道事業団 東海総合事務所）

金海 秀紀 氏（㈱日水コン 下水道事業部 ビジネス・イノベーション部 副部長）

佐藤 弘泰 氏（東京大学大学院 新領域創成科学研究科 准教授）

下水道分野における広域化・共同化の動向と官民連携

西村 文武
Fumitake Nishimura

京都大学大学院工学研究科 都市環境工学専攻 准教授



プロフィール

1991年 京都大学工学部衛生工学科卒業
1996年 京都大学大学院工学研究科衛生工学専攻博士後期課程修了
1996年 京都大学大学院工学研究科助手
1997年 愛媛大学工学部環境建設工学科講師
2004年 愛媛大学工学部助教授
2006年 愛媛大学大学院理工学研究科助教授
2007年 京都大学大学院工学研究科准教授

趣 旨：

今後人口減少社会を迎える中、全国の地方公共団体では、下水道施設の老朽化、技術職員の減少や使用料収入の減少といった様々な課題を抱えており、従来通りの事業運営では持続的な事業の執行が困難になりつつある。良好な事業運営を継続するためには、様々な取組が必要とされているが、その一つとして、下水道の広域化・共同化が効率的な運営に有効であると考えられている。すでに、ドイツなどにおいても広域化・共同化などが行われており、日本においても真剣に考える時期に来ている。下水道事業の広域化については、複数市町村等による処理区の統合、下水汚泥の共同処理、維持管理業務の共同化、ICT活用による集中管理などの効率的な運営に資する取組が進められている。本パネルディスカッションではそれぞれの見地から専門家に話題提供いただき、地球温暖化などの制約もある中で如何に効率的に下水道という社会インフラを維持し、活用していくかについて議論を深めたい。